



# 佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校  
令和8年度学校だより  
No.3 5月号  
令和8年5月1日(金)

## 燦々照今よりよき今をともに創らん

### 四月の様子から

令和8年度も、早くも一か月が経とうとしています。毎年のこととは言いながらこの四月、始業式、入学式はもとより、教科書を配布したり集合写真や個人写真を撮ったり、慌ただしい中で授業が始まったりということで、密度の濃い日々でした。

四月の様子を見ていて気になったことは昨年度とあまり変わらず、新1年生の初々しい姿です。まだ、制服の着こなしに慣れず、襟が立っていたりYシャツが詰襟から飛び出していたりしています。見ていてあどけなさも感じますが、こうした身なりに一人ひとり、そして全員が自然と気を配れるようになることも、集団としての成長の目安の一つであると考えています。

一方で、2・3年生は、つい先日まで最高学年だった卒業生の学年カラー、「黄色」い上靴を先輩が履いていることに違和感を覚えたようですが、すでに日常のこととして見慣れてきたように見受けられます。

今年度、変化があったことで目に留まるのは、自転車通学者のヘルメットです。新1年生からは、これまでのヘルメットの販売がなくなり、各自で購入していただくこととなりました。これまでとはデザインや形などが異なっていますが、色とりどりのところまではいかず、全体的に落ち



着いた雰囲気の色合いが多いように思います。初めて目にしたときには、目新しさについて視線を送ってしまうところもありましたが、数週間が経過したことで、通勤途中の地域の方々の目にも馴染んできたのではないかと思います。こうした新しい約束事や習慣が、学校の日常として静かに根付いていく中で、生徒たちがどのように自分らしさを発揮していくのか、期待に胸が膨らみます。

もう一つ、自転車通学について触れます。朝の登校時間帯は、どうしても近くの佐野小と高野小の小学生との動線が重なる箇所がいくつかあります。例えば、信号待ちをする際、停止線ぎりぎりに止まることは、一見すると何気ない振る舞いのように見えますが、それによって小学生の通り道を塞いでしまう事例がありました。指導をしたところ、すぐに改善が見られました。かつて小学生のときに、そういう配慮を受けていたことを思い出したのだと推測します。毎年、新年度始めには起こりうることですが、こうした細やかな気配りの大切さは、その都度丁寧に伝えていくべきだと改めて感じています。

保護者の皆様、そして地域の方々、様々な場所での立哨 並びに 交通安全指導等、いつもありがとうございます。今年度も変わらぬ御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

総体に向けて 限られた地方大会での様子から 野球部

